

弥生美術館 プレスリリース
6/4~9/25 「村上もとか展」

今！
だからこそ

村上もとか（1951）のデビュー50周年を記念し、半世紀の軌跡をたどります。幕末医療ロマン「JIN—仁—」^①「俠医冬馬」、日中近代史を壮大なスケールで描いた「龍—RON—」^②を中心に、F1（赤いベガス）^③、剣道（六三四の剣）^④、クライミング（岳人列伝）^⑤、少女マンガ史（フィチン再見！）^⑥等、様々なジャンルに挑み続ける実力派マンガ家の全貌に迫ります。
本展に際しては村上もとかに密着取材を試みました。本人セレクトによる名場面集、制作の裏側に迫った作品解説等、記念イヤーならではのトビックスが満載です。

デビュー 50周年記念

村上もとか展

「JIN—仁—」、「龍—RON—」、
僕は時代と人を描いてきた。

2022 **6.4 SAT** ▶ **9.25 SUN**

■ 中間展示替えを行い、多数の作品を展示します。*詳細はHPをご覧ください 前期：6月4日～7月31日 後期：8月2日～9月25日

■ 展覧会に併せて河出書房新社より新刊「村上もとか」刊行予定！ ■ 協力：集英社 小学館

①「JIN—仁—」「スーパージャンプ」表紙原画 ©村上もとか/集英社 ②「六三四の剣」4巻カバーより ©村上もとか/小学館 ③「龍—RON—」6巻カバー原画 ©村上もとか/小学館 ④「フィチン再見！」より ©村上もとか/小学館

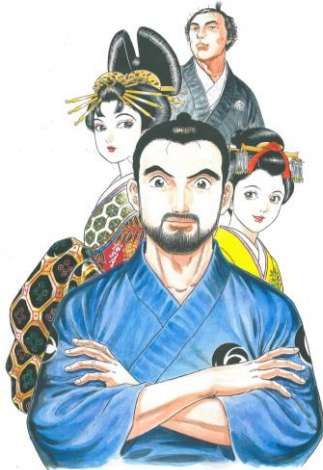
最大のヒット作 「JIN—仁—」

江戸時代の人々が感染症と闘い、
生き抜いてくれたからこそ
今の自分につながっているのです。(村上もとか)

新型コロナウイルスと格闘してきた日々、
励ましてくれたのは、「JIN—仁—」の物語でした。
今を生きるわれわれの奮闘が、未来に繋がってゆくのだから—。
もう一度、かみしめたい物語。



① 『JIN—仁—』20 巻カバー原画
2011 年 ©村上もとか／集英社



② 「JIN—仁—」
『スーパージャンプ』
2009 年 21 号表紙原画
©村上もとか／集英社

脳外科医・南方仁が幕末の江戸にタイムスリップ。
現代の医療知識を用いて江戸の人々を救う。
天然のペニシリンを製造することに成功した仁
は、仲間を得て、目の前の患者に向き合う。



③ 「JIN—仁—」『スーパージャンプ』
2000 年 19 号 ©村上もとか／集英社

【村上もとかが本展のために語った！】

今であれば治せる病に苦しんで死んだわれわれの先祖がいることに心を動かされました。もし、現代の医療知識をもった医者が江戸にタイムスリップしたら、彼らを救えるのではないかな。
(新刊「村上もとか」河出書房新社より抜粋)

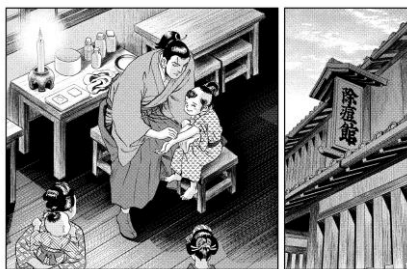
連載中！「^{きょういとう ま} 俠医冬馬」

2018 年に連載開始。まるでパンデミックを予見したかのような、時代とシンクロする幕末医療新作。



④ 『俠医冬馬』4 巻カバー原画
2021 年 ©村上もとか／集英社

主人公は幕末の大阪で医術を学ぶ・松崎冬馬。
150 年前、日本人はすでに感染症と闘っていた。
タイムスリップという〈魔球〉を使わずに、幕末の
医師たちの奮闘を、村上がストレートに描く！



⑤ 「俠医冬馬」
『グランドジャンプ』
2020 年 14 号
©村上もとか／集英社

【村上もとかが本展のために語った！】

ものすごく進んでいると信じていた現代医療が新型コロナウイルスを前にして歯が立たない。(中略)「俠医冬馬」で描いたこととまるで同じです。こんなの描いていて意味あるのかなと落ち込みました。人間は結局ダメなんじゃないか？ そういうことの上書きをしているような気がして手が止まりました。

しかし、毎日毎日、テレビでコロナの状況を見ているうちに心境に変化がきました。逆に、こんなにも人間は変わらないんだということを伝えるのも必要かもしれない。

(中略) 先人たちの奮闘を描くことで現代の人に希望を与えることができるのだったら「俠医冬馬」を描く意味もあるだろうと思いました。

(新刊「村上もとか」河出書房新社より抜粋)

デビュー50周年！

さまざまなジャンルに TRY してきた村上。

圧倒的な画力を持つだけでなく、〈自分の物語〉を生み出すことに心を燃やし続けた 50 年間の軌跡を総計約 300 点の原画でご覧いただきます。

【前期:6/4～7/31、後期:8/2～9/25】

みどころ

- ★大迫力の生原稿をご覧ください！
- ★本人セレクトの名場面集あり！
- ★展覧会語り下ろし！ 本人による作品解説！
- ★会場内は全作品撮影 OK！
- ★インスタライブ動画も視聴できます！

F1 マンガの金字塔！ タイヤものの名手！ 「赤いペガサス」



⑥ 「赤いペガサス」『週刊少年サンデー』
1978年12号原画
©村上もとか／小学館



⑦ 「赤いペガサス」『週刊少年サンデー』
1979年7号原画 ©村上もとか／小学館

剣道ブームをまきおこした！ むさし 「六三四の剣」



⑧ 『六三四の剣』8巻カバー原画 1983 年
©村上もとか／小学館



⑨ 「六三四の剣」『週刊少年サンデー』
1981年28号原画 ©村上もとか／小学館



⑩ 『六三四の剣』24巻カバー原画 1985 年
©村上もとか／小学館

歌舞伎界を描いた じゅんたろう 「蠢太郎」



⑪ 「蠢太郎」『ビッグコミックオリジナル』
2010年6号原画 ©村上もとか／小学館

連載 16 年の大河ロマン 「龍—RON—」



⑫ 『龍—RON—』文庫21巻カバー原画
2009 年 ©村上もとか／小学館

女流マンガ家・上田トシコを描いた ツァイチェン 「フィチン再見！」



⑬ 「フィチン再見！」『ビッグコミックオリジナル』
2013 年7号 ©村上もとか／小学館

■村上もとか プロフィール■

- 1951 年、東京都世田谷区生まれ。マンガ家。
- 高校卒業後、望月あきら（「サインはV！」）のアシスタントをつとめたのち、手塚治虫主宰の伝説的マンガ雑誌『COM』に作品を投稿（佳作入選）。
- 1972 年、21 歳のときに『週刊少年ジャンプ』（集英社）掲載の「燃えて走れ！」でデビュー。
- デビューから数年間は“タイヤもの”を描いて高い画力を評価されたが、その後はクライミング、剣道、ボクシング、日中近代史、医療、少女マンガ史など、さまざまなジャンルの作品を描いて、実力派マンガ家として活躍。
- 2022 年夏にデビュー50 周年を迎える。
- 2011 年、「JIN—仁—」で第15 回手塚治虫文化賞マンガ大賞など、受賞多数。
- マンガ家仲間と株式会社ぽけまんを結成、代表をつとめる。チャリティオークションを開催するなど、マンガを通じての社会貢献にも力を注ぐ。
- 代表作：『六三四の剣』、『龍—RON—』（小学館）『JIN—仁—』、『侠医冬馬』（集英社）



⑭ 村上もとか近影
撮影:大橋 愛

■開催要項■

展覧会名称	デビュー50 周年記念 村上もとか展 「JIN—仁—」、「龍—RON—」、僕は時代と人を描いてきた。
会期	2022 年 6 月 4 日（土）～9 月 25 日（日）
休館日	毎週月曜 *7 月 18 日（月・祝）、9 月 19 日（月・祝）開館。7 月 19 日、9 月 20 日休館。
開館時間	10：00～17：00（入館は 16：30 まで） *新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日・開館時間に変更になる可能性があります。 最新情報は美術館 HP でご確認ください。
会場	弥生美術館 1 階～2 階
同時開催	竹久夢二美術館 「夢二好みの君が行く！ 夢二式美人のひみつ」
入館料	一般 1000 円 大高生 900 円 中小生 500 円 *竹久夢二美術館と併せての料金。
住所	弥生美術館 〒113-0032 文京区弥生 2-4-3 TEL：03（3812）0012 FAX：03（3812）0699
交通	東京メトロ千代田線〈根津駅〉1 番出口／南北線〈東大前駅〉1 番出口よりいずれも徒歩 7 分 JR 上野駅 公園口より 徒歩 20 分
HPアドレス	https://www.yayoi-yumeji.museum.jp

■お知らせ■

★インスタライブ開催！★

村上もとか先生来館時にインスタライブを開催！
（初回は 6 月 3 日午後 4 時前後を予定）
会場内に QR コードを掲示しますので、作品を鑑賞しながら、アーカイブ画像を視聴いただけます。
作家本人による作品解説をお楽しみください。
ぜひ、イヤホン持参でご来館ください。

*会場内は wi-fi 環境ではありません。

★展覧会に併せて新刊刊行！

自作を語る。30,000 字！

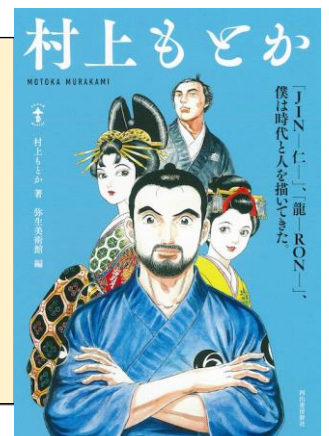
「村上もとか」

村上もとか著／弥生美術館編

河出書房新社 予価 1,991 円

「こち亀」

秋本治氏との BIG 対談も収録！



■内覧会■

6 月 3 日（金）14:00～17:00（自由観覧）村上もとか来館！ 取材お待ちしております。

この展覧会についてのお問い合わせは

弥生美術館 学芸員 内田静枝 までお願いします。 TEL：03-3812-0012 FAX：03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

弥生美術館 内田行

デビュー50周年記念「村上もとか展」

画像使用申込書

画像送付日 月 日 必着

掲載誌（紙）／放送予定番組名	
発売／放送予定日	
会社名・所属／ご担当者名	
ご住所 〒	
E-mail	
TEL	FAX
通信欄	

■**図版番号** ご希望の図版を ○印で囲んでください。（図版番号はプレスリリース参照）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

* デジタルデータの二次利用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い申し上げます。

プレスリリース掲載の図版について、メールで画像データをお送りします。

ご希望の場合はこの申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお送りください。

弥生美術館写真（外観／展示室）等、他に必要とする資料がございましたらご連絡ください。

著作権は村上もとかと、小学館、集英社が有しますが、本紙掲載画像を展覧会広報の用途で使用する
場合に限り、使用許可を得ています。図版使用の際にはクレジットを必ず入れてください。

■**読者プレゼント招待券（5組10名）**

希望する

希望しない

■**掲載誌（紙）ご送付のお願い**

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、掲載誌（紙）をお送り下さいますようお願い申し上げます。

【送り先】〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 弥生美術館 担当 内田

■**内覧会**

6月3日（金）14:00～17:00 内覧会を行います。＊自由観覧

村上もとか先生が来館します。先生への取材も可能です。

参加希望の方には別途ご案内させていただきます。

参加する

参加しない